



5月9日(土) 全校ピクニックが行われました。今年度ははじめて週末に開催し、送迎に来た保護者は十日市場校舎に残って校内研修を行いました。「学園が出来るまで」の寸劇を観劇した後、メディア(テレビ、パソコン、携帯、スマートフォン)についてグループディスカッションと寸劇発表。とても盛り上がりました。

5月9日 全校ピクニック

だんご山公園で、今日の道ゆきを共にする高学年のお兄さん、お姉さんとペアになりました。2年生は、8、7年生との組み合わせになり、どの子もほぼ初めて話す上級生でした。出発前に自己紹介、お兄さんたちが自分の名前を呼んでくれました。次に、お兄さんたちの名前を呼び返すはずでしたが、消え入りそうな声でした。

二人一組で、手をつなぎ出発しました。2年生が車道側になると、必ず歩道側に2年生を移動させ、常に車道側を歩いてくれる7年生がいました。また、2年生に「今は何の勉強をしているの?」と上手に話題をふってくれ「西尾先生は怒る?」なんていう質問も出てました。(担任研修期間にお邪魔した、5年ひとみクラスの姿を思い出し、つい感慨にふけてしまいました。あの時より格段に大きくなり、クラスのなかにさらにあたたかいものがあるように感じられました。)

にいほる里山交流センターを過ぎ、梅田川沿いの歩道を進むと左手に急な緑の斜面が見えました。念珠坂公園とは聞いていましたが、これは坂?崖じゃない?と思うほどでした。段ボールを持ってきて滑りたくなるような急な勾配でした。前を梅田川、三方を雑木林に囲まれた坂でした。ここで、9学年合同のだるまさんがころんだとリレーが行われました。

「だるまさんがころんだ」では、坂の上に各学年から出た鬼が計9名並びました。他の子どもたちが斜面を駆け上りました。当然、鬼に向かって斜面をのぼるはずなのですが、下っている高学年もいました。

「だるまさんがころんだっ!」で止まる時の姿勢も、なんとも形容しがたい姿勢でした。顔は俯きがちに45度、ひねりが右に30度、指先もすっこのびながら、体は坂の下に向いています。高学年男子のユーモアか、美意識のあらわれか、見て見ぬふりで楽しみました。

次は、縦割りチームでのリレーです。斜面上からジグザグと出発し、折り返し地点から斜面をまた駆け上りました。木にタッチして、次の人へたすきをわたすという森田先生発案のユニークなコースでした。みんな一生懸命に斜面を駆け上り、タッチする木を見失うこともありました。木のまわりに低学年が集まり「ここだよ!この木だよ!」と、走る子どもに呼びかけました。大声援のうちに、全員が走り終わりました。お腹もすき、帰宅方向が同じ子どもたちで集まりました。保護者の方には申し訳なく思いながらも、先にいただきますをしてお弁当を味わいました。

終わった後のおやじの会の方の自主企画も、また素敵でした。お父さんたちが楽しみ、真剣に大縄にのぞむ姿を、子どもたちはしっかり受け取っていたと思います。大人の立ち姿が多くのことを伝えます。そんな大人を間近に見えて幸せな子どもたちだとかみしめながら帰路につきました。

(2年生担任 西尾早知子)



“おやじの会”による大縄跳び

* 3年生 羊の毛刈り見学をして *

3年生から始まった「くらしとしごと」のエポック授業で、子どもたちは自分たちのくらしを支えている様々な仕事を体験し、学んでいます。5月21日、動物の恵みについて学ぶため、こどもの国牧場へ出かけました。クラス全員でまるまる一日校外学習に出かけるというのは初めての経験です。前日から子どもたちの心は期待ではち切れんばかり。持ち物を自分でメモして気合十分です。

当日の明け方、もの凄い雷雨にどうなることかと思いましたが、登校時には涼しい風が吹き気持ちのよい日になりました。こどもの国はその日ちょうど、複数の保育園や幼稚園や小学校の遠足と重なり、入場口は人・人・人の海。はぐれないようにしっかりと手を握りながら入場しました（私たちの学校、小さくてかわいいなあと実感）。奥へ進んでいくと、牛舎のにおいが漂ってきて、子どもたちは馬や牛や羊を見つけるなり、口々に「わあ〜！」といて駆け寄って行きました。

まずは、牛舎の牛たちを前に、飼育員の方から、牛のことや飼育員の仕事の話等を伺いました。牛たちの一日過ごし方や、じつに機能的に作られている牛舎の仕組みなど、とても面白いお話に皆じっと耳を傾けて、質問もたくさん出ました。お話の間にも、牛たちはのんびりと干し草を食べ、時おり滝のようなおしっこをして、子どもたちを驚かせました。次に、牛の乳搾り体験です。空中で手つきをよく練習して、こわごわ牛のもとへ。上のほうから順番に絞っていかないとミルクが出て来ず、コツがいるようでしたが、ぎゅっと握った牛のおっぱいから細くミルクが出てくると皆笑顔になり、「あったかかった〜」「やわらかーい」といって戻ってきました。順々に搾って、ようやくバケツの底にミルクがうっすらと溜まりました。最後に「見ていてごらん。」と飼育員さんが慣れた手つきでリズムカルに搾って見せてくれました。



そして次に、羊の毛刈りを見学しました。飼育員のお姉さんが大きなバリカンを抱えて、羊の胴からどんどん毛を刈っていきます。羊は15分ほどで、ぶ厚いコートを脱いだように、一回り小さくなりました。普段から手仕事の授業をしている子どもたちにとって羊毛は身近な素材ですが、いつも触っている羊毛も、こんな風にどこかの一頭の羊がまとっていた毛なのだとつながったと思います。帰りに、刈った一頭分の羊毛をビニール袋に入れてもらい、子どもたちはそのふかふかな感触を楽しみながら、交代で抱えて帰りました。

午後にはバター作りも体験しました。さっき見た牛たちから搾った新鮮な牛乳を少し温めて、ひたすら振る！ひいひい言いながら交代で振ること10分。牛乳の入ったペットボトルの中には、つぶつぶに固まったバターが浮いています。そっと漉して、バターはクラッカーにつけて食べました。皆「おいしい！」と、お皿やスプーンに残っているバターまできれいに食べました。漉された牛乳は低脂肪乳になり、さっぱりした味わい。楽しかった一日の気分も一緒になって、最後に満ち足りた気分で見学を終えました。

この一日で体験しただけでも、牛乳・乳製品・堆肥・羊毛と、動物は私たちのくらしにたくさんの恵みを与えてくれています。そんな動物たちに、友達のような近しさを持って接している子どもたちの様子が印象的でした。

(3年生担任 太田初)



「AWTC オプショナルツアー報告」

ゴールデンウィークに先駆け、4月25日から1週間、AWTC（アジアヴァルドルフ教員会議）が藤野を会場に開催されました。世界各国から講師をお迎えし、アジアのシュタイナー教育関係者が一堂に集い、寝食を共にし学びを重ねるといふ、先生方にとっては夢のような（…もしくは荒行のような）1週間です。

4月28日はオプショナルツアーの一環として、この横浜にも約30名のお客をお迎えしました。当日はまるで夏の盛りのような明るい日差しの中、9年生がツアーご一行を出迎え、まずは十日市場校舎をご案内。続くセレモニーも全編英語で。9年生の普段の英語授業の成果と度胸(?)が発揮された1日でした。

霧が丘校舎では和文化体験と銘打ち、保護者によるお点前の披露と浴衣の着付けをお客様に体験して頂きました。色とりどりの浴衣とにぎやかな着付け、精神を集中し一刻を愉しむお点前。和文化の華やかさと静けさの両方を堪能して頂いたようです。迎えたスタッフ全員の和服姿も華を添えていました。

夕食は温かな和食。もちろん全て手作りです。筍ごはんに澄まし汁、デザートは和菓子など旬の素材を使ったおもてなしに、あちこちからの「オイシィ」の声。（ちなみにこの日の夕餼の美味しさは、藤野に戻ってからの語り草になっていたそうです！）

夕食後には思いがけず参加者から素敵な歌とプレゼントを頂きました。

参加者・スタッフ、そこにいる全員が、今この時間を共有していることを感謝する温かな時間がそこには流れていました。共有するものは言葉ではなく、おもてなしをする側とされる側、お互いの寄り添う気持ちなのだ、とあらためて感じます。

一期一会。

貴重な時間を共有できたことを感謝しつつ。

（広報の会 2年生保護者 石倉義子）

「学園祭準備潜入ルポ」

いよいよ6月13日(土)オープンデイ・学園祭が開催されます。

9年生に今年の学園祭の内容、お勧めポイントなどを取材しました。

【縁日】 昨年は統一感がなかったので今年は「和」をテーマに日本らしく、景品も「和」を意識して準備しています。男性陣は、カード立て、積み木、ペーパーナイフなど木工の景品を準備しています。

【ダンボールワールド】 壁・景品などすべてダンボールで出来ています！みんなやる気があり、放課後頑張って遠くまでダンボールを集めに行っています。昨年とは一味違うダンボールワールドをお楽しみください。

【カフェ】 昨年同様「メルシィカフェ」と題し、フランスをテーマにメニューや装飾を工夫しています。昨年と違ったメニューやセットなども用意しています。初めて参加の7年生メンバーも多いですが、和気あいあい楽しく準備しています。

【劇】 今年は「白雪姫」を上演します。みんなやる気があり頑張っています。台本は自分たちで作成、衣装は8・9年生劇などで代々伝わって来たものを工夫して使っています。

【展示】 合唱・劇発表以外の時間に、エポックノートの展示・説明や、自分たちで「この学校のいいところ」などのアンケートし、集計したものをまとめて展示します。低学年の頃、朝の時間に教室に設えられていたように平均台を設置して小さい子が渡れる空間も作ります。

今年度はゴールデンウィーク中にAWTC（アジアヴァルドルフ教員会議）があり、その準備やAWTC期間中の休校などで昨年より学園祭の準備期間が短い中、「みんなが楽しい学園祭」をテーマに9年生を中心に、7・8年生も一緒にみんな協力して着々と準備を進めています。どうぞお越してください。

（取材 広報の会 7年生保護者 高橋えみ）

インフォメーション

公開講座

「豊かに育つ子どもの話」

日にち：5月31日(日)

時間：13:30～15:30

講師：神田昌実(現1年生担任・第2期
卒業生担任)

場所：アートフォーラムあざみ野

(横浜市青葉区あざみ野南1-17-3)

料金1,000円(NPO会員800円)

連続講座

「シュタイナーの 人間観・宇宙観」

日にち：①5月17日(日) 終了

②6月21日(日)

③7月20日(月・祝)

④9月20日(日)

⑤10月25日(日)

⑥12月13日(日)

時間：14:00～16:00

講師：不二陽子先生

(シュタイナー学園教員)

場所：十日市場校舎

料金：2,500円(NPO会員2,000円)

2016年度児童募集

日時：6月27日(土)[A]14:00～16:00

7月4日(土)[B]10:00～12:30

9月19日(土)[A]14:00～16:00

9月26日(土)[B]10:00～12:30

[A]14:00～16:00

10月3日(土)[B]10:00～12:30

場所：[A]霧が丘校舎

[B]十日市場校舎

参加費：無料

※できるだけご両親で参加されることを
お勧めします。

内容：[A]「シュタイナー教育とは」

「教育内容について」

[B]「保護者の学園への関わり

について」

説明会終了後に願書(1,000円)を配付し
ます。

申込み：参加を希望される方は、お名前、
連絡先、参加希望日をお書きの上、お申し
込みください。

*お車での来校はご遠慮ください。

*いずれも大人を対象とした内容となり
ます。お子さまはお連れにならないようお
願いたします。

茶話会／校内見学会

学園の雰囲気を感じていただ
けるこの機会に、どうぞお訪ねく
ださい。

茶話会(平日午前中)

日にち：6月17日(水)

7月16日(木)

時間：10:00～12:00

校内見学会(金曜日・週末)

日時：6月28日(日)

13:30～15:00

7月10日(金)

15:00～16:00

9月2日(水)

15:00～16:00

参加費：無料

場所：霧が丘校舎

学園にご興味・ご関心のある方は
どなたでもお越しください。お子
様連れも可です。

※お子様の上履きをご持参くださ
い。

公開講座

～過去を持つ大人

今と未来を生きる子ども～

「教育における大人たちの 内的成長の課題」

日にち：6月27日(土)

時間：10:00～12:00

講師：ローター・シュタインマン

場所：十日市場校舎

料金2,500円(NPO会員2,000円)

ご寄付ありがとうございます

(順不同・敬称略)

4月15日～5月21日

宮田文子、水野徳子、加藤洋子、伊
藤純子、山本忍(神ノ木クリニック)、
星の金貨

☆皆様からのご寄付は大切に使用せ
ていただきます。

◆NPO会員、NLメンバー案内

正会員・賛助会員：12,000円

ニューズレターメンバー：2,000円

継続登録、2015年度新規登録、絶賛募
集中です。詳細は事務局へお問い合わせ
ください。

星の金貨

星の金貨

学園ショップでは、季節のポストカー
ド・ハーブティー・木工作品・編みぐるみ・
書籍など取り揃えて皆さんをお待ちして
おります。

どうぞお立ち寄りください。

お問い合わせ

e-mail:hoshi-kinka@freeml.com

ブログ

http://hosinokinka.blog100.fc2.com/



お問合せ、お申込み先

横浜シュタイナー学園事務局

Tel&Fax: 045-922-3107 e-mail: gakuken-info@yokohama-steiner.com

【会費・ご寄付等お振込先】

郵便振替：00260-0-130702

加入者名：特定非営利活動法人横浜シュタイナー学園

ゆうちょ銀行：店番029 支店名029店(セニワキ店)当座0130702

横浜シュタイナー学園

Newsletter 第81号

2015年5月26日発行

編集：広報の会

発行：NPO法人横浜シュタイナー学園

http://yokohama-steiner.com

〒226-0016 横浜市緑区霧が丘3丁目1-20

TEL/FAX 045-922-3107

※掲載内容の無断転載をお断りします